

徹大勝利解決、工場分会創立。
 一、城南支部本多電気分会紛議に有藤組合
 長を専任として派遣す。

一、本所支部柏鏡金紛議有利解決を本部賢達連

一、争議及び紛議件数

- (イ) 件数 十九件
- (ロ) 参加人員 一七九六名
- (ハ) 罷業延日数 九二〇五日
- (ニ) 怠業延日数 二七五〇日
- (ホ) 結果 勝利十件、妥協八件、
 惨敗一件。

近年の争議はその大部分が、賃銀値下、
 解雇、工場倒壊、工場法が不履行、賃銀不
 私等に依る防衛的争議であった。本組合の
 大工場には概して争議が少なかったが、他産業

及び地方に於ては、大争議を頻発した左
 りに、争議部の活動も亦、他組合の応援に運
 びなかつた。

一、執行委員会 十八回召集

一、執行委員会及び地方労働階級の急激な増
 強に依り組織運動に對する努力を私法協
 打らなかつた結果、純然と活動し、ために内
 部へ充実した人員不足であった。

国際労働代表選出問題、大争議の應援及
 び政党内閣並に樺太中央委員会に對する態
 度等の重要なる事項があつた、之れ、拡大
 執行委員会を五回開催した。

一、教育的會合

- (イ) 本部主催 十回
 - (ロ) 各支部及び分会主催 三十四回
- 従来方針不統一たり、之れが作製に大影響

努力を要した。

教材の不統一と講師難のたりに、充分なる
 活動が不可能であつたことは遺憾である。殊
 に支部及び分会との連絡の不完全なる結果、前
 掲通知以外に本部に通知及報告なき教育的
 會合を相當行はれたてあらう。

一、組合員の増加

合同創立以来、組織運動には大なる努力
 をこめたが、従来、運動は偏然の要素に支配
 され、計画的な組織運動は充分に行はれなかつ
 た。本年一月頃までは、大体その基礎を固
 めるために、努力を傾倒された。

然し乍ら、工場分会数に於て、主眼の新設
 を見、組合員は約三分の増加を示した。

議長。本部報告に對して質問ありませぬ。

三澤君(自選)。第四支部解散後出来た
 北浦田協友会と全島労働組合との関係は四
 何になつてゐるか。

本澤君。極めて密接である。

松本君(自選)。川崎の職、素の議、新機と
 して出来て居る、あつた労働組合の、自衛回は
 在り後どうなつてゐるか。

本澤君。種々の事情により、この設置は、
 此である。會合、労働組合、労働者等
 が少くない。此の件は、新設会、新設会、新
 設会になつてゐるが、新設会の方から、後
 何等の報告に接したか。

加藤君(天崎)。田代東鏡工組合の主席であつ
 た岡谷君、主席君が除名されたこと、新
 設会、新設会になつたこと、その除名の理由及び此
 の新設会に對する本部の意見を述べた。